事業承継、落語で学ぶ

多治見市 東信経済倶楽部が講演会

「落語で学ぶ相続と事業承継」と題して講演するこころ亭久茶さん＝多治見市虎渓山町、とうしん学びの丘エール

東濃信用金庫の取引先でつくる東信経済倶楽部は、講演会を多治見市虎渓山町のとうしん学びの丘エールで開いた。きざき法務オフィス代表のこころ亭久茶さん（本名・木崎海洋さん）が「落語で学ぶ相続と事業承継」と題して講演し、軽妙な語り口で事業承継のポイントを紹介した。

久茶さんは約130人を前に、後継者不足で事業承継を断念する隠れ倒産が増加している現状を説明。事業承継がうまくいく企業の共通点として不易流行を挙げ、「後継者が社内から信頼を得るには経営理念や社訓といった不易を優先し、販売手法やサービス内容といった流行は時代に合わせて変えていく必要がある」と指摘した。

落語で具体的な事例を交えながら、「後継者がいない場合、社外から招へいするのも手。以前は企業の合併・買収（M&A）や事業譲渡はあまりいいイメージではなかったが、M&Aされることも勝ち組」と助言した。（野中準二）

無断複製・転載を禁じます